

～若手保育者の保育実践を通して、保育環境の課題を探る～

実施要項

(主催：千葉敬愛短期大学 総合子ども学研究所)

1. 趣旨

若手保育者の保育実践において、課題に直面した時の工夫や挑戦の形式を探り、共有することで、これからの保育実践においての対応力に繋げていくことを目指す。保育者の専門性は、「反省的実践家 (reflective practitioner) 論」により説明されることがある。そこでは、「行為の中の省察」と「行為の後の省察」があり、これらを言語化していくことは、保育者の資質・能力の向上につながっていくことになる。同時に、これらの実践を支えている、保育環境の構成に関する体系的知識との関連を探り、明らかにしていくことは、保育者の社会的認知を獲得していくうえでも、重要な作業といえる。

そこで、まずは本学の卒業生（保育者）同士の共同研究会を立ち上げ、情報共有をおこなう場としてのネットワークをつくっていく。そこでは、それぞれの参加者の保育実践や課題を紹介し、保育での工夫や挑戦に焦点を当て、共通する課題を探っていく。さらに、本学、総合子ども学研究所においては、共同研究会で共有された情報の分析に繋げていくこととする。

2. 内容

第一に、本学の卒業生（若手保育者）に依頼し、卒業後に直面する保育者としての課題について、実践発表を行っていただき、保育における課題を共有させていただく。そして、それぞれの実践と課題における共通点を見出し、今後の保育実践と研究の方向性を探り、学びあう機会とする。

第二に、保育環境の構成に関する最新の情報を確認し、参加者が相互に理解を深める。

第三として、保育者間のネットワークづくりのための条件を確認する。

3. 実施日程

2023 年 8 月 23 日 (水) 10 時～12 時 (12 時～13 時 情報交換会)

(千葉敬愛短期大学メディアセンター えほんのもり)

4. テーマ「気になる子どもの理解と関わり方」

4. 内容

時間	内 容
9 : 30	受付（事務棟入口） 資料配付
10 : 00	開会 1) 総合子ども学研究所所長挨拶 2) 吉村副学長挨拶 3) 資料と会の流れの確認
10 : 10	講話「気になる子どもの多様な理解（仮）」 木下勝世先生（愛隣幼稚園理事長）
10 : 30	①参加者の自己紹介 木下勝世先生（愛隣幼稚園理事長） 鈴木由歌先生（愛隣幼稚園園長） ※「参加者と座席に名札を表示」 1) 研究所メンバー 2) 卒業生参加者 ②趣旨・目的説明 情報提供：「保育実践の中での気になる子どもとの関わり（仮）」 鈴木由歌先生（愛隣幼稚園園長） ③各参加者の保育状況、環境の紹介 ④今年度の保育の取り組み ⑤保育の中での課題や悩み ※「5～10分の発表。もしよろしければ、資料の持参も事前に依頼（可能な範囲で。無しでも可）」「その後は、雑談形式で進行」
12 : 00	今後の参加条件（時間、場所、内容など）の確認 ※「アンケート用紙に記入」
12 : 10 12 : 50	情報交換会+卒業生交流会 [多目的ホール] 協賛：千葉敬愛短期大学校友会